

### 大阪平野の地層からみる森の変遷と人の暮らし

大阪平野と丘陵・台地に分布する地層には植物片や花粉の化石が含まれます。含まれる植物化石から地層が堆積したころの森や気候のようすが推定できます。地層の重なりを下から上へと観察することで含まれる植物化石の違いが認められ、森や気候がどのように推移したのかも理解できます。平野をつくる地層を分析すると、過去2万年前から現在までの森のようすをたどることもできます。特に歴史時代になると、気候変化の影響だけでなく人が関与することで森のようすが様変わりしたことも見えてきます。この講演では、地層の分析からわかる森や気候の変遷と人の暮らしとの関係について紹介します。

実習内容：植物園内は形態毎の森林区画があり、森林の比較が容易にできるようになっています。実習では講演で紹介した大阪周辺のいくつかの森のようすを見学します。日本産樹木見本園の並木道をたどることで、2万年前から現在までの時間と気候の推移による樹種の変化としてとらえ、園内を違った視点で見学します。



日本産樹木見本園

日時：平成30年3月3日（土）13時～16時（雨天実施）

場所：大阪市立大学理学部附属植物園

京阪交野線私市（きさいち）駅より徒歩約6分

費用：350円必要（中学生以下無料）

定員：40名（先着順）

#### プログラム

講演「大阪平野の地層からみる森の変遷と人の暮らし」  
と園内見学

講師 三田村 宗樹

（大阪市立大学大学院 理学研究科 教授）

#### 参加申込方法

☆来園、電話、FAXまたは電子メールにて下記の情報をお送りください。

- (1) 氏名（ふりがな）、(2) 住所（市町村まで）、(3) 電話番号、  
(4) 職業（任意）、(5) 年齢（任意）を下記宛お送りください。

〒576-0004 大阪府交野市私市2000 TEL：072-891-2059 FAX：072-891-2101

大阪市立大学理学部附属植物園「第9回植物園市民講座」係

☆メールの場合は件名を「第9回植物園市民講座 参加申込」として(1)～(5)を  
b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp へお送りください。

